

株主通信

2012年3月期第2四半期

2011年4月1日～2011年9月30日

人と人をつなぐ、
パートナーでありたい。



経営理念

【経営理念 Mission】

「愛」「敬」の精神に基づき、
人を尊重し、社会の発展に貢献する

【目指す姿 Vision】

時代とともに変化する顧客と社会のニーズに応え、
グローバルに事業を展開することにより、
価値ある存在として常に進化を続ける

【価値観 IK Values】

- ・ 謙虚さと誠実さを基本とする (倫理観)
- ・ 高い理想、大きな夢、熱い心を持って
常に限界に挑戦する (志)
- ・ 自由闊達な議論とチームワークを重んじ、
社員の成長を大切にす (組織風土)
- ・ 顧客の問題を顧客の立場から解決し、
顧客のベストパートナーとなる (機能)
- ・ 世界の人々と価値を共有し、
そこに暮らす人々と共に発展する (共生)



代表取締役社長

稲畑勝彦

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社の2011年4月1日から9月30日における事業の概況をご報告する
にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期の日本経済は、3月に発生した東日本大震災により、企業活動は
もとより国民生活が大きな影響を受けました。サプライチェーンや社会
インフラは徐々に復旧が進みつつありますが、経済活動が勢いを取り
戻すまでにはいたっておりません。

こうした中、当社の当第2四半期連結累計期間の売上高は、対前年
同期比0.2%増の2,320億円となりました。利益面では、営業利益は
同21.3%減の36億4千万円、経常利益は同14.3%減の41億7千万円と
なりました。四半期純利益は同31.7%減の26億9千万円となりました。

今後の経営環境は、急激な円高による国内経済への影響をはじめ、
米国経済の停滞、欧州の財政問題による金融不安、中国をはじめと
する新興国の景気動向など、より不透明な状況が生じております。

このような状況の下、当社はより一層の成長を期して、2013年度を最
終年度とする中期経営計画「IK2013」を策定いたしました。当社と
いたしましては、この目標の達成に全社一丸となって取り組んでま
いる所存です。

株主の皆様におかれましては、どうか今後とも、変わらぬご支援と
ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

中期経営計画「IK2013」

～ 価値ある存在として常に進化を目指して～

当社は、このたび2013年度を最終年度とする3ヵ年の中期経営計画「IK2013」を策定いたしました。中期経営計画「IK2013」では、以下の6つの重点施策を掲げております。これらを一つずつ着実に実行することにより、収益基盤を一層強化し、継続的な企業価値の向上に努めてまいります。

1 伸びゆくアジア・中国地域への一層の経営資源の投入

- 強みであるアジア事業を徹底的に強化する
- 日本を含む拠点間の連携を一層強化する

2 新興国市場への取り組みの拡大

- インドに続いて、ブラジルなどの新興国市場を開拓する

中国・インドに対する取り組み

■中国市場

- ・輸出型ビジネスから内需型ビジネスへ
- ・沿海地域から内陸地域へ
内陸地域へ拠点を拡大→成都に続き重慶、武漢へ展開
- ターゲットとなる市場→家電、自動車・二輪車関連分野

■インド市場

- 重要市場のひとつとして事業拡大に向けた取り組みを加速する
- デリーを中心に、チェンナイ、ムンバイの3拠点体制

3 環境・エネルギー、ライフサイエンス事業の育成・強化

- 全社横断的な取り組みを強化し、収益の柱に育てる
＜取り組み商品の例＞太陽電池関連、二次電池関連、ジェネリック医薬品関連等

4 グローバルな人材育成のスピードアップ

- 日本からの海外赴任者を3年以内に100名とする
- 海外商社部門の増員
現状約500名であるのを、3年以内に最低600名、5年を目途に700名に増員する
- 海外研修など人材育成制度の抜本的見直し

5 厳選した投資を実施し、確実なリターンを得る

- 3年間の投資枠をグループ全体で90億円に設定
既投資案件……継続の見直しによる選択と集中
新規投資案件…成長が期待できる事業分野と地域に重点的に配分

(注)重点事業分野：情報電子、化学品、合成樹脂の3事業分野
重点地域：中国、インドを含むアジア地域

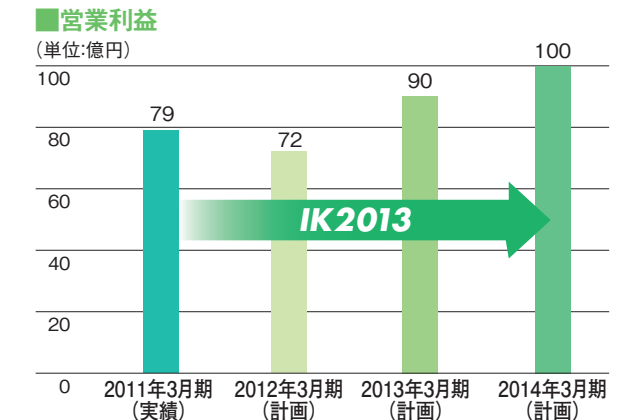
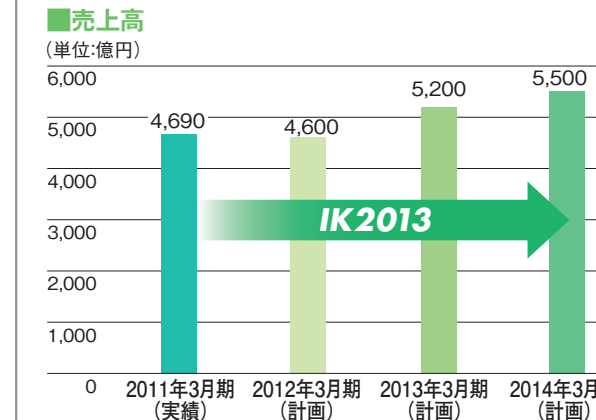
6 更なる資金効率・資産効率を追求し、自己資本比率、ROE、D/Eレシオの向上を図る

○経営指標の推移

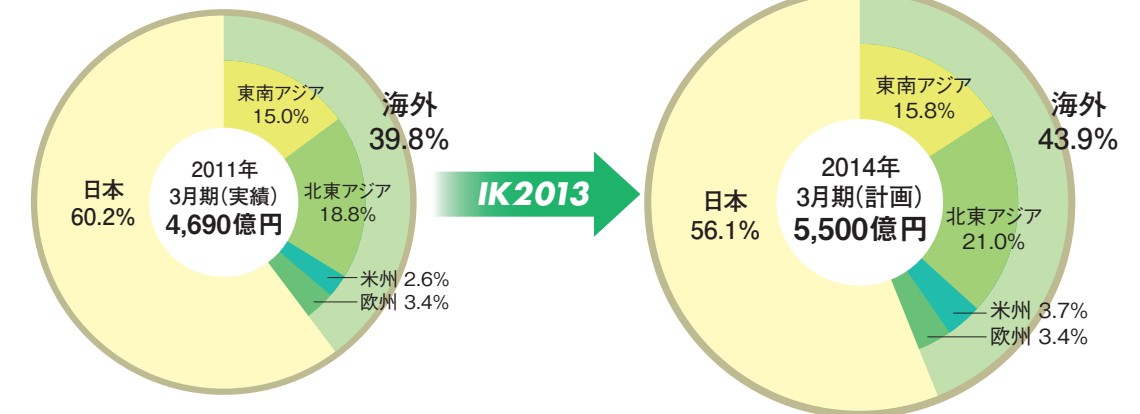
| | 2011年9月 実績 | 2012年3月 計画 | 2013年3月 計画 | 2014年3月 計画 |
|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 自己資本比率(%) | 30.4% | 29.6% | 29.0% | 29.1% |
| ROE(%) | — | 6.9% | 7.1% | 7.4% |
| ネットD/Eレシオ(倍) | 0.78倍 | 0.74倍 | 0.73倍 | 0.72倍 |

注:ネットD/Eレシオ=(有利子負債－現預金)÷自己資本

売上5,500億円、営業利益100億円を目指します



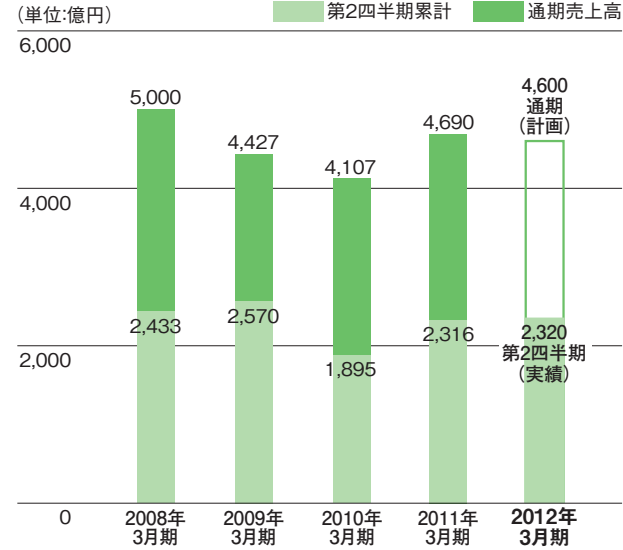
地域別売上高構成比



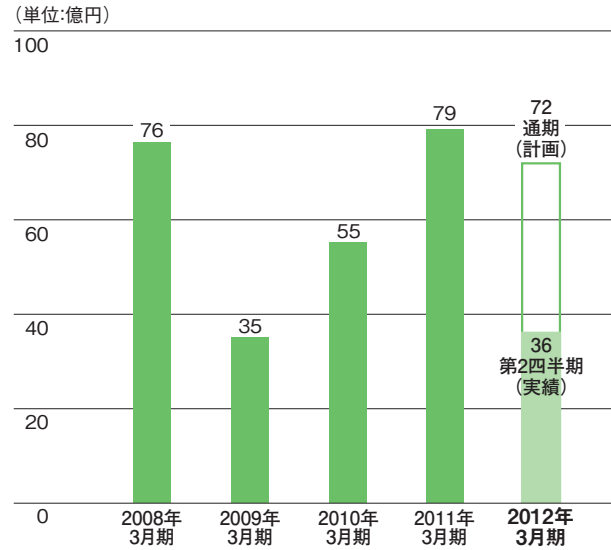
ファイナンシャル ハイライト(連結)

(注)記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

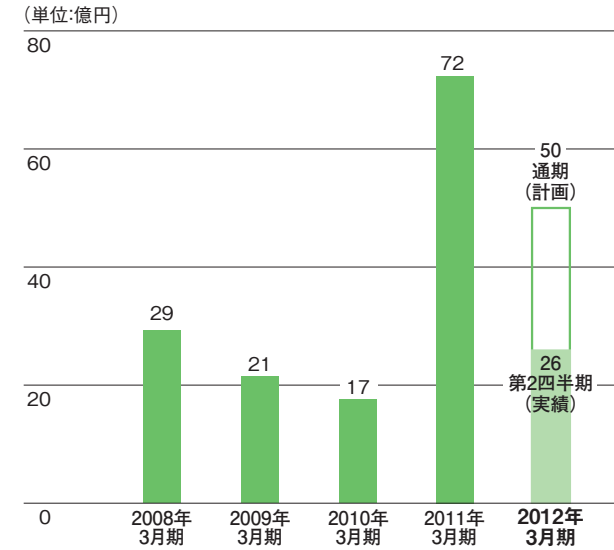
売上高



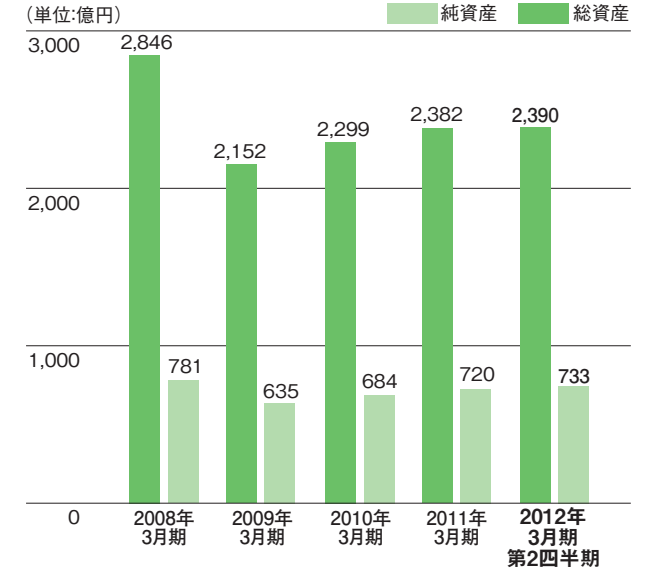
営業利益



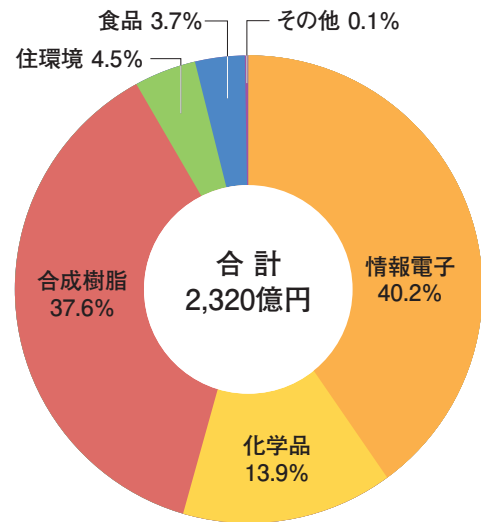
当期純利益



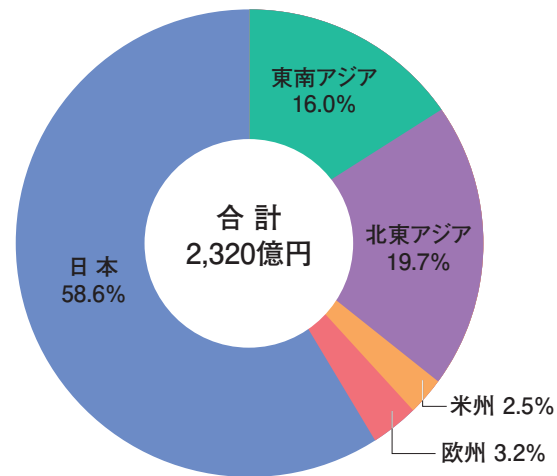
純資産と総資産



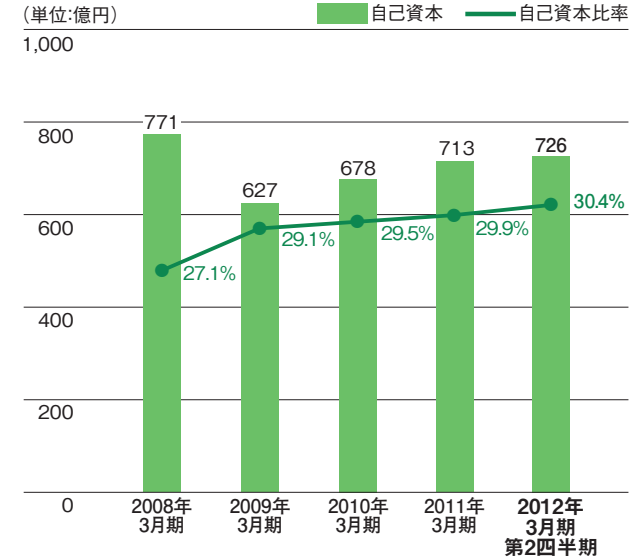
事業区分別売上高・構成比 (2011年4月1日~9月30日)



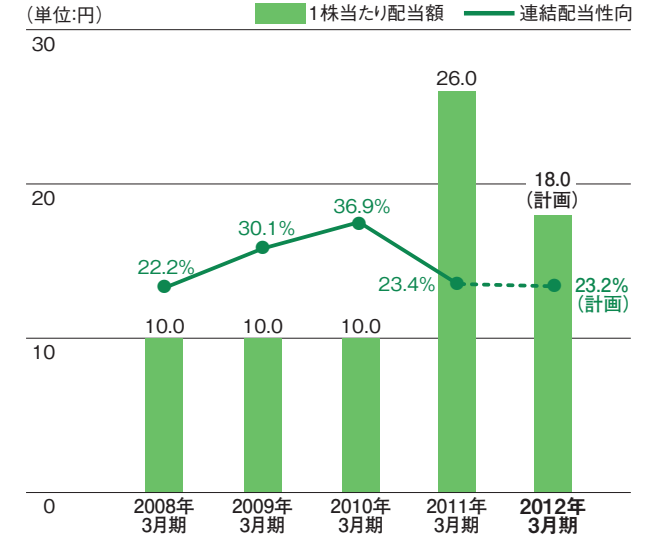
所在地別売上高・構成比 (2011年4月1日~9月30日)



自己資本と自己資本比率



配当額と連結配当性向(期末)



(注)2011年3月期の期末配当金には、「創業120周年記念配当」2円を含んでおります。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| | 前期末 2011年3月31日 | 当第2四半期連結会計期間末 2011年9月30日 | 増減額 |
|----------|-------------------|-----------------------------|-------|
| 流動資産 | 177,791 | 179,241 | 1,449 |
| 固定資産 | 60,481 | 59,790 | △ 690 |
| 有形固定資産 | 9,946 | 9,772 | △ 173 |
| 無形固定資産 | 6,559 | 6,146 | △ 413 |
| 投資その他の資産 | 43,975 | 43,871 | △ 103 |
| 資産合計 | 238,272 | 239,031 | 759 |
| 流動負債 | 141,195 | 141,567 | 371 |
| 固定負債 | 25,036 | 24,133 | △ 902 |
| 負債合計 | 166,231 | 165,700 | △ 531 |
| 純資産合計 | 72,040 | 73,331 | 1,290 |
| 負債純資産合計 | 238,272 | 239,031 | 759 |

●流動資産の増加

受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加した等のため、1,449百万円増加しました。

●固定資産の減少

有形・無形固定資産が減少した等のため、690百万円減少しました。

●流動負債の増加

短期借入金が増加した等のため、371百万円増加しました。

●固定負債の減少

長期借入金が減少した等のため、902百万円減少しました。

●純資産の増加

主として利益剰余金が増加したため、1,290百万円増加しました。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 2010年4月1日～9月30日 | 当第2四半期連結累計期間 2011年4月1日～9月30日 | 増減額 |
|------------|---------------------------------|---------------------------------|---------|
| 売上高 | 231,646 | 232,003 | 357 |
| 売上原価 | 215,363 | 216,172 | 809 |
| 売上総利益 | 16,282 | 15,830 | △ 451 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,655 | 12,187 | 531 |
| 営業利益 | 4,626 | 3,642 | △ 983 |
| 営業外損益 | 244 | 529 | 285 |
| 経常利益 | 4,871 | 4,172 | △ 698 |
| 特別損益 | 1,511 | △ 73 | △ 1,584 |
| 四半期純利益 | 3,948 | 2,698 | △ 1,250 |

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 2010年4月1日～9月30日 | 当第2四半期連結累計期間 2011年4月1日～9月30日 | 増減額 |
|------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,810 | △ 10,371 | △ 13,181 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 1,332 | △ 1,203 | △ 2,536 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,241 | 4,530 | 5,771 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 166 | 53 | 220 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 2,735 | △ 6,990 | △ 9,726 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,014 | 15,777 | 10,763 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,749 | 8,786 | 1,037 |

●売上高の増加

震災の影響を見込んでいたものの、事業は想定より早期に回復しました。

●営業利益の減少

主として減価償却費が増加したため、983百万円減少しました。

●経常利益の減少

持分法投資損益が改善した等のため、698百万円減少しました。

●当期利益の減少

前第2四半期累計期間は関係会社売却益を計上しましたが、今期は特別損益の影響は縮小しました。

TOPICS

稲畑産業の中国現地法人上海稲畑産業貿易有限公司は、2011年8月1日、重慶に事務所を開設いたしました。

同事務所は、近年成長著しい重慶地区および中国西部地区において、合成樹脂等のビジネス拡大に努めます。

同じく上海稲畑産業貿易有限公司は、2011年8月31日、武漢に事務所を開設いたしました。

同事務所は上海稲畑のサテライトオフィスとして、武漢地区で合成樹脂および情報電子等のビジネスに注力します。



上海稲畑産業貿易有限公司 重慶事務所が入居するFortune Gathering Building



上海稲畑産業貿易有限公司 武漢事務所が入居するWuhan World Trade Tower

会社情報

会社の概要

会社名 ● 稲畑産業株式会社
創業年月日 ● 1890年10月1日
設立年月日 ● 1918年6月10日
資本金 ● 93億6千4百万円
従業員数 ● 566名(グループ会社への出向者を含む)
〔連結:3,603名〕

大阪本社 ● 大阪市中央区南船場一丁目15番14号
東京本社 ● 東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
名古屋支店 ● 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号
営業所 ● 松本営業所、三重営業所
九州営業所(霧島市)

(2011年9月30日現在)

役員

(2011年9月30日現在)

| | |
|-------------------|--|
| 代表取締役社長 社長執行役員 | 稲畑 勝太郎 |
| 代表取締役 専務執行役員 | 情報画像本部担当・電子機能材本部担当・ 化学品本部担当 中野 佳信 |
| 代表取締役 専務執行役員 | 経営企画室担当・情報システム室担当・ 財務経営管理室担当・業務管理室担当・ 人事総務室担当・リスク管理室担当・ 東京本社担当・情報システム室長 大槻 延広 |
| 取締役 常務執行役員 | 海外事業担当・コンパウンド統括室担当 西村 修 |
| 取締役 常務執行役員 | 合成樹脂第一本部担当・合成樹脂第二本部担当・ 住環境本部担当・食品本部担当 金子 證 |
| 取締役 執行役員 | 経営企画室長 菅沼 利之 |
| 取締役 執行役員 | 財務経営管理室長・経営企画室副室長 横田 健一 |
| 取締役 執行役員 | 情報画像本部長・電子機能材本部長 赤尾 豊弘 |
| 取締役 | (住友化学株式会社 顧問) 亀井 康夫 |
| 取締役相談役 | 稲畑 勝雄 |
| 常勤監査役 | 佐藤 精一 |
| 監査役 | 越智 豊 |
| 監査役 | 井原 實 |
| 監査役 | 鈴木 修一 |
| 執行役員 | タイ総支配人 岩上 潤 |
| 執行役員 | コンパウンド統括室長 尾崎 一郎 |
| 執行役員 | NCプロジェクト統括 上杉 隆 |
| 執行役員 | 合成樹脂第一本部長 望月 卓 |
| 執行役員 | 合成樹脂第二本部長 杉山 勝浩 |

(注)1.取締役 亀井康夫は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2.監査役 井原実及び鈴木修一は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
3.当社は、監査役 井原実及び鈴木修一を東京証券取引所及び大阪証券取引所の定めに基づき独立役員として指定し、両取引所に届出ております。

株式情報

(2011年9月30日現在)

【発行可能株式総数】 200,000,000株
【発行済株式の総数】 65,159,227株
【株主数】 6,268名
【大株主の状況】

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|--|-------------|-------------|
| 住友化学株式会社 | 13,836 | 21.3 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 3,113 | 4.8 |
| JP MORGAN CHASE BANK 385093 | 2,100 | 3.2 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,082 | 3.2 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社 | 1,736 | 2.7 |
| CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 1,195 | 1.8 |
| 稲畑 勝雄 | 1,153 | 1.8 |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,114 | 1.7 |
| 丸石化学株式会社 | 961 | 1.5 |
| MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION | 874 | 1.3 |

(注)1.持株比率は自己株式数(69,185株)を控除して計算しております。
2.[みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社]は、株式会社みずほ銀行が所有していた当社株式を退職給付信託として委託した信託財産であり、議決権については株式会社みずほ銀行の指図により行使されることになっております。
3.上記株主の英文名は、株式会社証券保管振替機構から通知された「総株主通知」に基づき記載しております。

株主メモ

事業年度 ● 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 ● 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。

定時株主総会 ● 毎年6月開催

上場証券取引所 ● 東京・大阪証券取引所 市場第1部

証券コード ● 8098

単元株式数 ● 100株

公告の方法 ● 電子公告 当社のホームページに掲載します。

<http://www.inabata.co.jp/koukoku>

ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

会計監査人 ● 大阪市中央区瓦町三丁目6番5号

銀泉備後町ビル 有限責任 あずさ監査法人

株主名簿管理人及び ● 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

特別口座管理機関 住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 ● 東京都中央区八重洲二丁目3番1号

事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) ● 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10

住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ● ☎0120-176-417

(ホームページURL) ● <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

【特別口座について】

株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。